

# 健康医療都市ひらかた コンソーシアム通信

Vol.35

【編集・発行】 枚方市 健康部 健康総務課 TEL: 072-841-1319 FAX: 072-841-2470  
MAIL: kenkousoumu@city.hirakata.osaka.jp

令和2年(2020年)  
1月発行



## コンソーシアム主催事業

### 「私たちが知らない受動喫煙の真実 なぜ今、たばこ対策なのか」を開催しました

10月17日(木)に、メセナひらかた会館6階大会議室にて、健康医療都市ひらかたコンソーシアム主催事業「私たちが知らない受動喫煙の真実なぜ今、たばこ対策なのか」を開催しました。一般社団法人禁煙推進学術ネットワーク理事長で、兵庫県立尼崎総合医療センター名誉院長の藤原 久義先生を講師にお招きし、基調講演として受動喫煙による健康被害や日本のたばこ対策の現状等に関してご講演いただきました。



喫煙や受動喫煙による年間推定死亡者数や、たばこ税と喫煙被害による医療費等の比較、なぜたばこは止められないのか、また、藤原先生が制定に携わった「兵庫県受動喫煙防止条例」についてなど、様々な観点から喫煙や受動喫煙に関するお話を聞くことができました。

講演に引き続き、枚方市の伏見市長、枚方市医師会会長の藤本 良知先生、有澤総合病院の寺崎 由香先生によるシンポジウムを行いました。伏見市長は、市庁舎内全面禁煙や、市民公開講座などの取組について話され、藤本会長は、日本医師会や日本歯科医師会、日本薬剤師会の禁煙に関する宣言や、枚方市の三師会が行った受動喫煙防止対策アンケートなどの取組をご紹介いただきました。

寺崎先生からは、「自身の医師としての経験から、心と身体の不調の原因が喫煙や受動喫煙にあるのではないか、また、実際に煙を受けなくても、屋内に残存するたばこ煙によるサードハンドスモークなどについてお話しいただきました。当日は93名が参加され、参加者から質問や意見もいただき、改めてたばこや受動喫煙について考えるきっかけとなりました。



## 令和から みんなでつながる 健康志向

### 「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催しました

10月27日(日)、ラポールひらかたにて、「第31回枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催しました。平成元年から始まったこのフェスティバルは、今年度で31回目の開催を迎え、延べ8053名にご来場いただきました。医師会による血液型判定に血糖値測定、歯科医師会によるフッ素体験コーナーや薬剤師会による子ども薬剤師体験、社会福祉協議会の模擬店など、健康、医療、福祉に関する多彩な催しが盛りだくさんのイベントとなりました。4階大研修室では、事務局と枚方体育協会が体験型講座「スポーツ吹矢」を実施し、年齢・性別を問わず多くの方にご参加いただきました。

今年度は、昨年台風24号の影響により中止となった「あべ静江さんと長与千種さんとAEDマンの“プロレスによるAEDの実演会”」を、メセナひらかた会館にて開催しました。当日は26名の参加があり、アンケートでは「AEDの使用方法を生で見て勉強になりました」とても楽しかったです等の感想に加えて、約9割の方から「AEDの使用方法が理解できた」との回答をいただきました。



あべ静江さんと長与千種さんとAEDマンの“プロレスによるAEDの実演会”

### コンソーシアム代表者会議を開催しました

12月6日(金)に、令和元年度(2019年度)第2回健康医療都市ひらかたコンソーシアム代表者会議を開催しました。会議では、今年度の連携事業の取り組み状況や、新たな連携事業の提案、来年度の予算や事業等について報告・協議を行いました。

### \*各団体代表者の異動のお知らせ

▽摂南大学(11月1日付)  
八木 紀一郎(やぎ きいちろう) 前学長に代わり、新たに  
荻田 喜代一(おぎた きよかず) 学長が就任されました。



●関西医科大学整形外科 第9回市民公開講座「腰痛」

11月3日(日)に、関西医科大学附属病院13階講堂にて実施しました。『なぜ腰が痛い?なぜ腰がまがって行くの?』腰痛と腰まがりの原因と最新の治療』と題して、同大学の石原 昌幸先生が講演されました。また、第2部として腰痛でお困りの方へ、整形外科医による相談コーナーを実施しました。当日は75名が参加されました。

●第45回枚方市医師会市民公開講座

11月9日(土)に、ラポールひらかたにて実施しました。第1部では、「認知症が心配なもの忘れ?質の悪くないもの忘れ?」と題して、①認知症とは何か、②記憶について理解を深める、③良性の物忘れVS悪性の物忘れ、④悪性の物忘れを確認する検査(高齢ドライバーの認知機能検査)、⑤アルツハイマー病への道のり、⑥各ステージでの対応:現状と展望について、星ヶ丘医療センター・もの忘れ外来の森 敏先生が講演されました。

第2部では、「高齢ドライバーの問題点」と題し、①高齢者の事故・事件の現状、②老人の運転意識、③高齢者講習における視力検査、④認知機能検査について、枚方市医師会副会長の田邊 稔邦先生が講演されました。当日は125名が参加されました。

●星ヶ丘医療センター 脳卒中市民公開講座

「脳卒中」になったら? 知っておきたい医療と介護」

11月30日(土)に、メセナひらかた会館2階多目的ホールにて実施しました。星ヶ丘医療センターの高橋 務先生より、脳卒中の発症要因や治療におけるチーム医療などについてお話いただき、枚方市地域包括支援センター 松徳会 浅田 京子所長より、介護保険制度や地域包括支援センターの紹介、退院後の自宅生活を支える事例について講演されました。また同センター職員による介護相談、星ヶ丘医療センターの看護師による健康相談の窓口を設け、多くの方々のご相談にお応えしました。当日は153名が参加されました。

災害に備えて〜災害医療連携訓練を実施〜

10月9日(水)に実施された枚方公済病院の災害訓練に、枚方市災害医療対策会議が参画し、13機関・183人の参加のもと連携訓練を実施しました。

今回の訓練では、生駒断層帯による直下型地震が発生し、震度6強を観測したという想定により、院内に災害対策本部及び重症度に応じた各診療エリアを立ち上げ、情報収集並びに患者のトリアージ(傷病の度合いによる選別)や処置を行うとともに、市内の災害医療協力病院と連携し、E・M・S入力とMCA無線を活用した情報伝達訓練を行いました。

枚方市災害対策会議では、病院前に拠点応急救護所を設置し、一次トリアージで軽症と診断された患者に対する二次トリアージから処置・投薬までの一連の流れを確認しました。今回の訓練で学んだことを、課題解決に生かし、枚方市の災害医療体制の充実につなげていきます。



↑患者搬送の様子

枚方市保健センター「健康サポート講演会」

◆「健康寿命を延ばすためのちょっとした工夫と気をつける点」

日時 10月25日(金) 14時~15時30分  
講師 加多乃会 岩坂 壽二先生  
参加人数 66人

◆「かかりつけ薬局・薬剤師の上手な活用法」

日時 11月21日(木) 14時~15時30分  
講師 枚方市薬剤師会 古池 祐土先生  
参加人数 39人

◆「中高年が気をつけたい病気と予防の秘けつ」

日時 12月12日(木) 14時~15時30分  
講師 枚方市医師会 松尾 信郎先生  
参加人数 97人

◆「認知症の治療と予防法 ~最新の知見をふまえて~」

日時 12月26日(木) 14時~15時30分  
講師 加多乃会 砂田 尚孝先生  
参加人数 98人



今後実施予定のコンソーシアム連携事業

日程	内容	場所	実施主体
2月8日(土) 14時30分 ~16時30分	◆関西医科大学市民公開講座 「食物アレルギーってどんな病気?」 講師:済生会中津病院 平口 雪子 先生 「よくわかる!ぜんそくの話」 講師:関西医科大学総合医療センター 石浦 嘉久 先生 「皮膚のアレルギーで困っていませんか」 講師:関西医科大学附属病院 岸本 泉 先生 「ここまで進んだ アレルギー性鼻炎の最新治療」 講師:関西医科大学香里病院 濱田 聡子 先生 ほかダスキン開発研究所によるアレルギーに関する講演	ラポールひらかた 4階 大研修室	関西医科大学附属病院 医事課 電話 072-804-0101
2月15日(土) 2月22日(土) 13時~15時	◆大阪歯科大学公開講座「アンチエイジング(抗加齢) 医学・歯学一長生きする為のひけつ」 講師:同志社大学 米井 嘉一 先生(15日) 講師:大阪歯科大学 志水 秀郎 先生(22日)	大阪歯科大学 楠葉学舎 講堂	大阪歯科大学 総務課 電話 072-864-3001
2月29日(土) 10時~15時	◆枚方公済病院健康フェア 血管年齢測定、栄養士による食事相談、 看護師による認知症相談、ちびっこナース写真撮影会	二トリモール枚方	枚方公済病院 電話 072-858-8233